

大切なのは入念な段取り 「失敗なし」の工事事業

株式会社 真明機設

〒0258-89-7973 ☎ kk-shinmei-kisetsu@outlook.jp

📍 新潟県長岡市信濃2-14-29

<https://www.shinmei-kisetsu.com/>

危機の予測、回避だけでなく
危機発生時のリカバリー方法
まで検討

機械器具設置工事を主とした工事事業を手掛ける『株式会社真明機設』。重量物、機械の搬入、撤去、据付、移設、メンテナンスのほか、制御、シーケンサーなどを含む電気工事も行う。運搬据付対象は、発電設備や集塵機器、給排気設備、電気設備、工作機械、プラント機器など多岐に渡るが、最も得意とするのは産業用ロボットと搬送設備。主に工場で使われているが、数トンにも及ぶ大型機器も珍しくないという。人力では動かすことのできない重量物が多く組み込まれているため、作業においては高い技術力と安全性が求められる。

同社が重んじているのは、作業前に入念な段取り。現場の規模や環境は様々なため、案件によって対応を求められる。事前の現場確認を元に搬入手順を徹底的に検討したうえで、必要な資機材の手配を行う。重量物を扱っているので、そう簡単に軌道修正はできない。些細な誤差や思い違いが取り返しのつかないことになることもあるので、それを防ぐためにも事前準備が重要なのだと同社代表取締役の真貝さんは語る。

現場の広さや天井の高さ、開口寸法については、特に注意を払う部分で、搬入対象を現場に入れるのが難しいと判断した場合は、搬入対象の一部を分解して入れることも前提として、必要な道具や分解方法、組み立て方法などの手順を考える。念には念を入れた

事前準備をしたのにもかかわらず、予期せぬトラブルが現場で起こることも少なくないが、そうした「トラブルが生じたときの準備」も怠らない。危険を予測し、回避するリスク管理に加え、危機が発生したときに何をすればよいか事前検討する危機管理も行っているというわけだ。

法人化されて日も浅いが、着実に実績を重ね、信頼を得ながら案件を増やしていくことに力を入れ、縦のつながりも横のつながりも広げていきたいと語る真貝さん。

会社名の『真明機設』には「真面目で明るい」という想いが込められているそうだ。シンプルで明確な社名は、一度聞いたらすんなりと頭に入る。実直な仕事ぶりも相まってその名は浸透し、今後も堅実に事業を拡大していくことだろう。



SHIN
III X III
MEI